

◎住居説明期間権……………(まちづくり専門委員会)

◎環境改善活動の取り組み……………(環境部会)
◎青少年非行防止活動の取り組み……………(青少年部会)
◎地区全体「筋力トレーニングしましょ」(毎月第2水曜日)……(福祉委員会)
◎福祉のまちづくり小地域ネットワーク活動の取り組み(福祉委員会)
◎文化活動への積極的な取り組み……………(文化部会)
◎広報活動の取り組み……………(広報部会)
◎災害に対する知識向上および防災活動の取り組み……(防災研究委員会)
◎地域住民の健康で実り豊かな生涯づくりをめざして「健康づくり」
の普及啓発に取り組む

※コロナの為、中止・延期の可能性があります。

各部会、学校関係者の皆様には地域の活動にご協力とご支援を頂き、心より感謝いたします。

又、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、ほとんどの活動や発表会が中止されました。

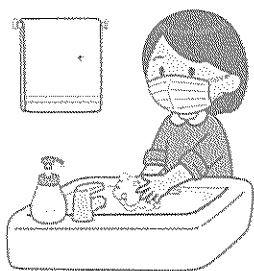
本年度も、この様な状況が続く各部会の活動や行事が規制されております。

その中で、感染対策の徹底を行い、出来る活動はないものかと話し合っています

修斉地区の皆様方には衛

生管理と感染防止を徹底していただき、今後も市民協の各種団体の活動や行事が出来ますように祈るばかりです。

皆様方にはご支援、ご協力のほどよろしくお願い致します。



来年こそ各種団体の行事等が行えるようお祈り申し上げます

令和 3 年度修斉地区市民協議会役員

令和3年度町会長



防災研究委員会

防災研究委員会代表

一ノ谷 豊

自然エネルギーは
いいことばかり
ではない！

今年の梅雨は期間が長くかつ各地で「線状降水帯」による被害が発生しました。河川の氾濫による浸水被害と土砂崩れ・土石流による土砂災害が多かったです。その土砂災害の中で記憶に鮮明な事例は静岡県熱海市の土石流災害です。多数の死者と行方不明者を出してしまいました。現在はその復旧作業と原因の調査が進められていますところですが、原因のひとつに周辺に設置された太陽光発電施設が上がっています。

自然(再生可能)エネルギーとしての太陽光発電と風力発電が全国各地で山林を開発して設けられています。すがベース電源となるには非力でデメリット(乱開発、自然破壊)も大きいと思います。因みに、日本の電源構成の電源構成を下の表に記します。

日本の電源構成(2020年)

電源の種類	構成比率
火力(石炭・LNG・石油)	74.9
原子力(再稼働中)	4.3
水力	7.9
バイオマス	3.2
地熱	0.3
風力	0.9
太陽光	8.5
合計	20.8
合計	100.0

* 出所：電力調査統計より作成

まちづくり専門委員会

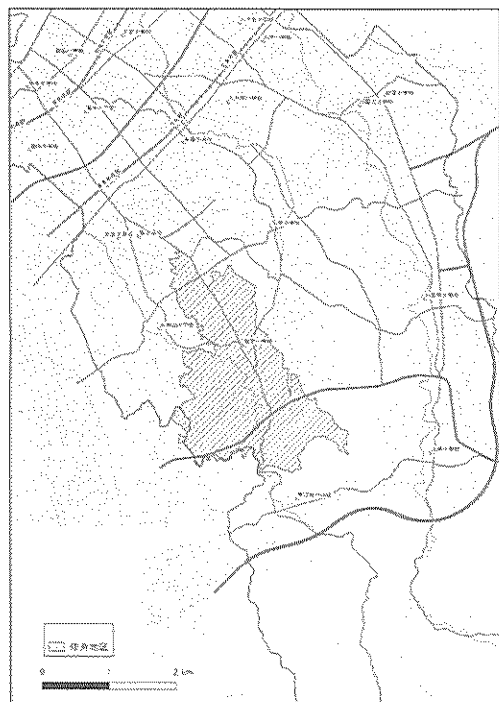
まちづくり専門委員会

中塚 茂春



令和3年5月、まちづくり専門委員会の委員長を務めさせていただくことになりました中塚茂春と申します。みなさんでよいまちづくりを考え、てまいりたいと思いますので、よろしくお願い致します。

まちづくり専門委員会を立ち上げた背景には、農業経営者の高齢化や若年層の農業離れなどが課題となっています。これらの課題を解決しようと専門委員会を設立し、今回のワークショップの企画をしました。第1回目となるワークショップには44人の地域の人々が集まりました。ワークショップでは、同志社大



学商学部の石田信博教授を講師に迎え、参加者と地域の魅力・課題について意見交換をしました。ワークショップ討議では、参加者から、日頃感じていた我が地域のまちづくりや市の取り組みに対する様々な意見が出されました。「自分たちのまちは自分たちでつくる」を掲げ、市民協議会としてこのワークショップを令和4年1月までにと2回開き、まちの将来像をつくりたいと思います。令和4年3月には住民説明会を開催し、まとまった「修斉地区まちづくり基本構想」は令和4年6月に岸

和田市へ提案する予定です。コロナ禍でのまちづくりの取り組みに、大変厳しい状況になっていますが、皆様のご協力を是非ともお願い致します。



令和3年度 収支予算書

【収入の部】 (単位:円)	【支出の部】 (単位:円)
◎繰越金 1,017,311	◎会議費 40,000
◎会費 596,000	総会及び運営委員会
神須屋町 74,000	◎事務費 50,000
八田町 58,000	事務用品・事務機器消耗品等
葛城町 190,000	◎事業費 1,230,000
真上町 42,000	各部会活動費
土生滝町 106,000	環境部会 180,000
北阪町 20,000	青少年部会 170,000
阿間河滝町 106,000	文化部会 450,000
◎補助金 479,750	広報部会 200,000
〔岸和田市自治振興課 479,750〕	防災研究委員会 50,000
◎広告料他 0	まちづくり委員会 50,000
のびゆく修斉広告料	書記活動費 130,000
収入合計 2,093,061	◎予備費 773,061
	支出合計 2,093,061

平成2年度 収支決算書

【収入の部】 (単位:円)	【支出の部】 (単位:円)
◎繰越金 553,541	◎会議費 0
◎会費 596,000	総会及び運営委員会
神須屋町 74,000	◎事務費 313,202
八田町 58,000	事務用品・事務機器消耗品等
葛城町 190,000	◎事業費 315,217
真上町 42,000	各部会活動費
土生滝町 106,000	環境部会 5,000
北阪町 20,000	青少年部会 140,000
阿間河滝町 106,000	文化部会 0
◎補助金 479,750	広報部会 88,000
〔岸和田市自治振興課 479,750〕	福祉委員会 0
◎広告料他 30,009	防災研究委員会 0
のびゆく修斉広告料	書記活動費 82,217
収入合計 1,659,300	◎予備費 13,570
	有真香グラウンド斜面草刈り(年3回)
	支出合計 641,989
	収入合計-支出合計=残
	1,659,300-641,989=1,017,311
	令和3年度へ繰越致します。

青少年部会

青少年部会長・青指協代表

藤原 輝明

平素は青少年部会及び青少年指導員協議会へのご理解とご協力を賜り誠に有難うございます。

青少年部会では、7月の夏季研修会と9月の祭礼年番合同開催の祭礼前研修会を恒例行事としていますが、新型コロナウイルスの影響で中止しました。

青少年指導員では、7月10日に運営委員会を開催し、後日「ここはあぶない」の看板を手分けして掲示しました。多くの行事が中止であり活動は出来ていませんが、祭礼



福祉委員会

福祉委員会委員長

植田 宜博

様々な団体の方々がコロナ禍の中、苦心しながら活動されているところですが、福祉委員会では比較的高齢の方が対象の活動が多いため、活動には慎重にならざるを得ません。昨年に引き続き、今年もたくさんの方が集まる活動は困難ですが、それでも戸別訪問など各単町でできることを

見極めながら活動をしているところです。年間の活動の中では力を入れていふれあいサロンは、今年もできそうにありませんが、比較的少人数でできる男の料理教室などは、予防接種の進み具合にもよりますが、一度くらいは実施できるのでは、という見通しを持っています。



修斉校区青少年指導員

※地域の青少年の健全育成の為に、様々な所で活動してくれています。

神須屋町	八田町	真上町	土生滝町	阿間河滝町	北阪町	葛城町
野内 清幸	森内 明広	一ノ瀬 公孝	雪本 光秀	植田 冬樹	薮 昭雄	西納 佐登史
大畑 直也	広瀬 隆介	今口 和宏	上田 精三	植田 章		藤原 輝明
						奈良 法隆

(令和3年4月1日から2年間の任期です)

文化部会

文化部会長 谷 和喜

皆様方には日頃から、文化部会の活動にご理解、ご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

さて、文化部会の活動として、有真香グラウンド清掃・修斉地区運動会・市民スポーツカーニバルへの参加など文化活動への積極的な取り組みをしてまいりました。

前年度から修斉地区運動会におきましては、コロナウイルスの影響により中止となっており、運動会を楽しみに待っておられた皆様方には誠に申し訳なく思っております。今年度も、コロナウイルスの影響があり開催は現在協議中となっております。

コロナ禍により活動が制限される中ではありますが、今後とも文化部会活動にご支援ご協力の程宜しくお願い致します。



連合子供会

連合子供会会長

井上 晋治

皆様方には、日頃より連合子供会の活動にご理解、ご協力頂き厚く御礼申し上げます。前年度から続く新型コロナウイルスの影響で、例年と違った状況になってしまっています。皆様方におかれましては大変な状況であるかと思えます。

今後の感染状況で開催・中止になるかと思えます。休みも終わり、学校生活も始まったばかりですが、連合子供会の活動も中々出来ない状況ですが、行事が再び開催されれば連合子供会としても、子供たちの頑張りに応えるべき役員一同力を合わせて取り組んでいく所存でございます。

連合老人クラブ

修斉地区連合老人クラブ代長

小森 正好

修斉地区の皆様こんにちは、修斉老人クラブ連合会を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

昨年度の当初から新型コロナウイルスの大流行により、年中行事の大半が中止、延期となり三密を避けての活動は非常に難しいものがありました。

楽しみにして頂いていた一泊旅行や、公民館活動の一つの葛城大学も丸々一年間休校となってしまい、社

会見学や葛城寄席等も中止になりました。各町老人クラブ員はワクチン接種が殆ど終わり、グラウンドゴルフとクラリティーを従前同様楽しくプレーしています。まだまだコロナは終息の見通しはたっていないませんが、老人クラブ員は元気に生活していきまので、宜しくお願い申し上げます。



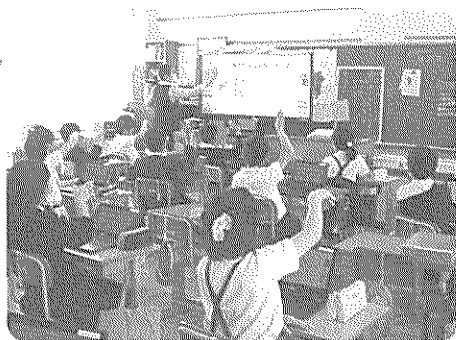
学 校 園 だ よ り

修 育 小 学 校

コロナ対策とICT活用

今年度もコロナウイルスの影響により、学校園活動が大きく制限される中、子どもたちは、感染予防に注意しながら、授業や行事、保育に取り組んでいます。特に、昨年度末に導入さ

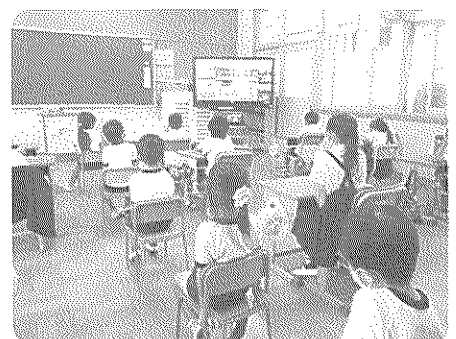
れたタブレット端末を活用し、eライブラリー(学習ソフト)やロイロノート(プログラムシステムアプリ)を使い、インターネットによる調べ学習にも取り組んでいます。また、各教室に配置してあります電子黒板や拡大掲示装置を活用し、始業式や終業式も、リモートで実施しています。小学校では、今後も一層、ICT教育に力を入れていきたいと考えています。



タブレットと電子黒板による
漢字学習(4年生)



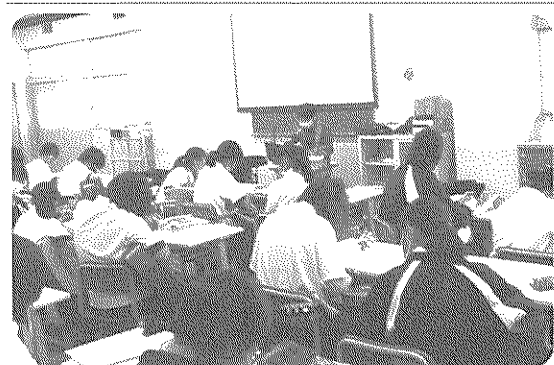
eライブラリーで自主学习(2年生)



リモートで終業式
(1年生と幼稚園)



拡大掲示装置を
活用してのスピーチ(6年生)



音楽

音楽では、器楽の授業でアルトリコーダーを使わずギター演奏をしています。定点カメラを用い、教師の手元を拡大し生徒に見やすくしています。もちろん個別指導も行います。慣れない楽器ですが生徒たちは一生懸命に練習しています。次は、タブレット端末を

感染予防対策の授業

一学期は非常事態宣言の中、昨年と同じように修学旅行、体育大会、一年の校外学習という大きな行事は、全て二学期へ移動しなくてはいけなくなりました。

感染拡大防止対策や一人一台端末を利用した授業に取り組んでいますので紹介します。

葛城中学校

用いた授業で、休校になったときにリモートで授業を行うための練習にもなりませんが、生徒たちもタブレットの使い方をしっかりと学び授業についていっています。



理科

就 任 ご 挨拶

有真香会館長

宮下 省吾

本年4月から葛城地区公民館(有真香会館)にお世話

話になっております。皆様方には、日頃より地区公民館の運営・活動に對しまして多大なるご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。昨年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大はピークの波を繰り返し、現在なお続いております。その間、緊急事態宣言が出されるなど、計画しておりました公民館まつりは中止となり、定期講座・登録クラブの活動も休止を余儀なくされました。公民館は、活

動を通してコミュニケーションの場であり住民の皆様がふれあえる場であります。今後も状況をよく見て判断し、安全を考慮した運営に努めてまいります。

編 集 後 記

第64号もコロナ禍の中で、各種団体のご協力をいただき無事に発行することができました。記事の作成に大変な苦労をされた事だと思えます。心より感謝を申し上げます。

来年こそは、コロナを克服して明るい第一歩を踏み出せるような未来がありましよう、心よりお祈り申し上げます。

R 2 事 業 報 告

- 7月 ◎夏季研修会「防犯交通安全等について」(中止)……(青少年部会)
◎春の花いっぱい運動(中止)……(環境部会)
◎事務局長会議「令和2年交流研修会報告」……(書記)
- 8月 ◎広報紙「のびく 修 育」第63号発行……(広報部会)
- 9月 ◎祭礼前研修会「救急救命方法とAEDの使い方」(中止)……(青少年部会)
◎まちづくり勉強会……(まちづくり専門委員会)
- 10月 ◎秋の花いっぱい運動(中止)……(環境部会)
◎有真香グランド清掃(中止)……(文化部会)
◎修育地区運動会(中止)……(文化部会)
- 11月 ◎ふれあいサロン修育(中止)……(福祉委員会)
◎岸和田市民スポーツカーニバル(中止)……(文化部会)
◎まちづくり勉強会……(まちづくり専門委員会)
- 12月 ◎男の料理教室(中止)……(福祉委員会)
- 1月 ◎まちづくり勉強会……(まちづくり専門委員会)
- 3月 ◎「福祉委員会だより」作成・配布(中止)……(福祉委員会)
◎津田川清掃(中止)……(環境部会)
◎事務局長会議(中止)……(書記)
◎まちづくり勉強会……(まちづくり専門委員会)

1年間を通じて

- ◎環境改善活動の取り組み……(環境部会)
◎青少年非行防止活動の取り組み……(青少年部会)
◎地区全体「筋力トレーニングしましょ」(毎月第2水曜日)……(福祉委員会)
◎福祉のまちづくり小地域ネットワーク活動の取り組み(福祉委員会)
◎文化活動への積極的な取り組み……(文化部会)
◎広報活動の取り組み……(広報部会)
◎災害に対する知識向上および防災活動の取り組み……(防災研究委員会)
◎地域住民の健康で笑い豊かな生涯づくりをめざして「健康づくり」の普及啓発に取り組む

各種会議の開催

- (1) 総 会(中止)
(2) 運営委員会(原則として毎月第4火曜日に開催)
(3) 役員会(必要に応じて)
(4) 部 会(環境部会、青少年部会、福祉委員会、文化部会、広報部会)
(5) 専門委員会(防災研究委員会)
(6) 書記会(随時)